

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年8月2日 (2018.8.2)

【公表番号】特表2017-519804(P2017-519804A)

【公表日】平成29年7月20日 (2017.7.20)

【年通号数】公開・登録公報2017-027

【出願番号】特願2017-500960(P2017-500960)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/73 (2006.01)

A 6 1 K 8/60 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 Q 13/00 (2006.01)

A 6 1 Q 15/00 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 Q 1/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/04 (2006.01)

A 6 1 Q 17/04 (2006.01)

A 6 1 Q 5/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/73

A 6 1 K 8/60

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 47/26

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/38

A 6 1 Q 13/00 1 0 2

A 6 1 Q 15/00

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 Q 1/00

A 6 1 K 8/04

A 6 1 Q 17/04

A 6 1 Q 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月18日 (2018.6.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

油の形態の無水組成物であって、

1) 少なくとも1つの有益な薬剤を含有するコアと、コアを取り囲む被膜とを含む少なくとも粒子であって、前記被膜は、デンプン(C₅~C₂₀)アルケニルスクシナートから選択される少なくとも1つの疎水的に変性された多糖と、マルトデキストリンから選択される少なくとも1つの水溶性炭水化物とを含み、

300.0g/lから600.0g/lの範囲の疎充填粉末密度及び1.0を超える絶対密度を同時に有し、球状であり、1から30 µmの範囲の数平均直径、及び5から150 µmの範囲の体積平均直径を有する、粒子、及び

2) 油性相

を含む、組成物。

【請求項 2】

生理学的に許容される媒体を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項 3】

粒子が球状であり、特に2から15 µm、更により良好には5から10 µmの範囲の数平均直径、及び10から100 µm、更により良好には20から80 µmの範囲の体積平均直径を有する、請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項 4】

疎水的に変性された多糖が、ナトリウムデンプンオクテニルスクシナートから選択される、請求項1から3のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

疎水的に変性された多糖が、粒子の被膜の総質量に対して20質量%から90質量%、特に30質量%から80質量%、更に良好には40質量%から70質量%、更により良好には40質量%から60質量%に相当する、請求項1から4のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

水溶性炭水化物が、4から20の範囲のD.E.を有するマルトデキストリン、更に良好には12から20の範囲のD.E.を有するマルトデキストリンから選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項 7】

水溶性炭水化物が、粒子の被膜の総質量に対して10質量%から80質量%、好ましくは15質量%から70質量%、より優先的には20質量%から65質量%、更により良好には40質量%から60質量%に相当する、請求項1から6のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

有益な薬剤の放出を伴う粒子が、少なくとも：

- 水溶性炭水化物と、疎水的に変性された多糖との混合物から形成された水溶液を調製し、その後、有益な薬剤を添加し、その全体を攪拌して、エマルジョンを形成する工程；
- そのように形成された前記エマルジョンを、10から200パール、より優先的には20から200パールの範囲の圧力の高圧で均質化する工程；
- 前記エマルジョンを乾燥チャンバーで噴霧する工程；及び
- 好ましくは少なくとも0.3 x Pcの圧力及び少なくともTc-60 の温度で、加圧下の流体、例えば好ましくは超臨界状態の二酸化炭素を用いて、好ましくは3時間を超えない時間、より優先的には30分間を超えない時間にわたり水を抽出して、有益な薬剤の放出を伴う粒子を得る工程であって、ここでPcがガスの臨界圧力に相当し、Tcがガスの臨界温度に相当する、工程

を含む方法により得られてもよい、請求項1から7のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

有益な薬剤が、

- (i) 脂肪物質；
- (ii) 芳香性物質；
- (iii) 医薬活性成分；
- (iv) 化粧用活性剤

から選択される、請求項1から8のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 10】

有益な薬剤が、芳香性物質、より特定にはハートノート及び/又はヘッドノートから選択されるもの、更により特定には：

ベンジルアセタート

ゲラニルアセタート

cis-3-ヘキセニルアセタート

C18アルデヒド又はノナラクトン

デシルアセタート

アリルアミルグリコラート(シトラール)

エチルアセタート

ブチルアセタート

アリル3-シクロヘキシルプロピオナート

リナリルアセタート

フェニルエチルアルコール

ヘキシルアセタート

Berryflor又はエチル6-(アセチルオキシ)ヘキサノアート

イソアミルアセタート

アリルカプロアート

Amarocite又は6,6-ジメトキシ-2,5,5-トリメチルヘキサ-2-エン

Citral Lemarome N又は3,7-ジメチルオクタ-2,6-ジエナール

Canthoxal又はアニシルプロパナール

Claritone又は2,4,4,7-テトラメチルオクタ-6-エン-3-オン

エチル2-メチルブチラート

ジヒドロミルセノール

cis-3-ヘキセノール

Hedione又はメチルジヒドロジャスモナート

L-カルボン

アリルヘプタノアート

リモネン

Neobutenone Alpha又は1-(5,5-ジメチル-1-シクロヘキセニル)ペンタ-4-エン-1-オン

メチルヘプテノン

Toscanol又は4-(シクロプロピルメチル)フェニルメチルエーテル

Myrcenol Super又は2-メチル-6-メチリデンオクタ-7-エン-2-オール

デカラクトン

ステアリルアセタート

ローズオキシド

リナロール

Triplal又は2,4-ジメチルシクロヘキサ-3-エン-1-カルバルデヒド

Melonal又は2,6-ジメチルヘプタ-5-エナール

1-(1,2,3,4,5,6,7,8-オクタヒドロ-2,3,8,8-テトラメチル-2-ナフチル)エタン-1-オン

ヘキシルシンナマール

テトラヒドロ-2-イソブチル-4-メチルピラン-4-オール

ヘキシルサリチラート

1,4-ジオキサシクロヘプタデカン-5,17-ジオン

及びそれらの混合物

から選択されるものから選択される、請求項1から9のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 11】

粒子が、25℃において10.0Pa以上の飽和蒸気圧を有する少なくとも1つ又は複数の芳香性物質を含み、前記芳香性物質は、粒子中に存在する芳香性物質の総質量に対して、優先

的には50質量%から100質量%、好ましくは60質量%から100質量%、より優先的には70質量%から100質量%、更に良好には80質量%から100質量%に相当する、請求項1から10のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 2】

a) 粒子が、少なくとも1つの芳香性物質を含むことと、
b) 組成物も、少なくとも1つの遊離型の芳香性物質を含み、ここで遊離型の芳香性物質は、前記粒子中に存在する芳香性物質と同一であっても又は異なってもよいことを特徴とする、請求項1から11のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 3】

粒子中にのみカプセル化された1つ又は複数の芳香性物質を含むことを特徴とする請求項1から12のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 4】

少なくとも1つの防臭性活性剤及び/又は少なくとも1つの制汗活性剤を含み、より特定には、有益な薬剤を放出する粒子が少なくとも1つの芳香性物質を含み、更により特定には、組成物も少なくとも1つの遊離型の芳香性物質を含み、ここで遊離型の芳香性物質は、前記粒子中に存在する芳香性物質と同一であっても又は異なってもよい、請求項1から13のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 5】

ヒトのケラチン物質をケア及び/又はメイクアップするための方法であって、前記ヒトのケラチン物質の表面に請求項1から14のいずれか一項に記載の組成物を塗布する工程からなる、方法。

【請求項 1 6】

体臭及び任意選択的にヒトの発汗を処置するための化粧方法であって、ケラチン物質の表面に請求項14に記載の組成物を塗布する工程からなる、方法。

【請求項 1 7】

請求項1から14のいずれか一項に記載の組成物から形成されることを特徴とする、消費者製品。